

特集 持続可能な農業・地域共生の未来づくり

「不断の自己改革によるさらなる進化」



JAでは、組合員の皆さまの願いを実現するため、各々のJAが多様な農業・地域の実態に応じて、自らの創意工夫に基づく積極的・多彩な事業と組織活動を展開しています。地域の農業とくらしはなくてはならない組織となることを目指して、自己改革を実践しています。

今回の特集では、「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」についてフロー・ズアップし、当JAの取り組み方針や、新たに始まった「営農指導体制」についてご紹介します。

農業生産の拡大

トップ営農指導員(後述)を配置して生産拡大・品質向上を図る品目として、イチゴ・トマト・柑橘(かんきつ)・ワサビ・荒茶・花卉・米などを設定。生産拡大に必要な施策と、拡大目標を達成するための重要な業績評価指数(KPI)を定め(図②)、生産の拡大に努めます。

同時に、ブランド力を向上させ、市場・ファーマーズマーケットでの販売強化に努めます。販売においても必要な施策とKPIを定め、販路開拓を行います。(図③)

図② 農業生産の拡大 主要品目の生産拡大 (単位：人、ha)

品目	施策概要	KPI	
		部会員数	部会生産面積
イチゴ	がんばる新農業者支援事業による新規就農者育成	241	79
トマト	がんばる新農業者支援事業による新規就農者育成	129	28
柑橘	改植事業による優良品種転換	657	443
ワサビ	良質苗安定供給、熱水土壌消毒機による生育均一化・収量増加	401	87
荒茶	GAP推進・定着、施肥・防除基準の統一	310	630
花卉	消費者ニーズに対応した多品種生産	234	115
米	地域ブランド米の組織強化	1,133	1,430

※トップ営農指導員を配置して生産拡大・品質向上を図る上位品目を掲載
※柑橘は温州みかん、米はごてんばこしひかり、するがの極、伊豆の恵、う宮米

図③ ブランド力を生かした販売の強化

(1) 市場等への販売 (単位：百万円)

品目	施策概要	KPI
		販売高
イチゴ	市場との情報共有による計画出荷、重点市場への協調出荷	2,303(130)
トマト	市場との情報共有による計画出荷	1,781(80)
柑橘	市場との情報共有による計画出荷、重点市場への協調出荷	1,457(49)
ワサビ	業務用ワサビの販売強化、量販店への販売強化	1,025
荒茶	茶商ニーズに応じた茶市場販売、大口茶商との契約販売	808(30)
花卉	品質日持ち認証取得による出荷の効率化	549(15)
米	地域ブランド米の直販強化	620(330)

※果実・野菜に関して、JA静岡経済連東京事務所に出荷者1人を配置し販売を強化
※()内は買取販売

(2) ファーマーズマーケットにおける販売 (単位：百万円)

店舗名	地区	KPI
		販売高
農の駅(はればれ売店、ほのぼの売店)、こらっしえ	伊豆太陽	167
フレッシュ(錦田店、北上店、函南店)	三島函南	430
農の駅(グリーンプラザ伊豆の国、伊豆、土肥)	伊豆の国	605
いで湯つこ市場	あいら伊豆	350
ファーマーズなんすん(金岡産直市、KAU〜ら、長泉産直市、すそのふれあい市)	なんすん	414
ファーマーズ御殿場	御殿場	670
う宮〜な	富士宮	1,263

消費者ニーズに応える魅力ある商品の品揃え充実

- 「販売物流プラットフォーム」による商品流通体制の確立
管内農産品(共販品)と県内JA・全国JAからの農産品等の仕入れ
- プライベート・ブランドの充実

(3) プライベート・ブランドの販売

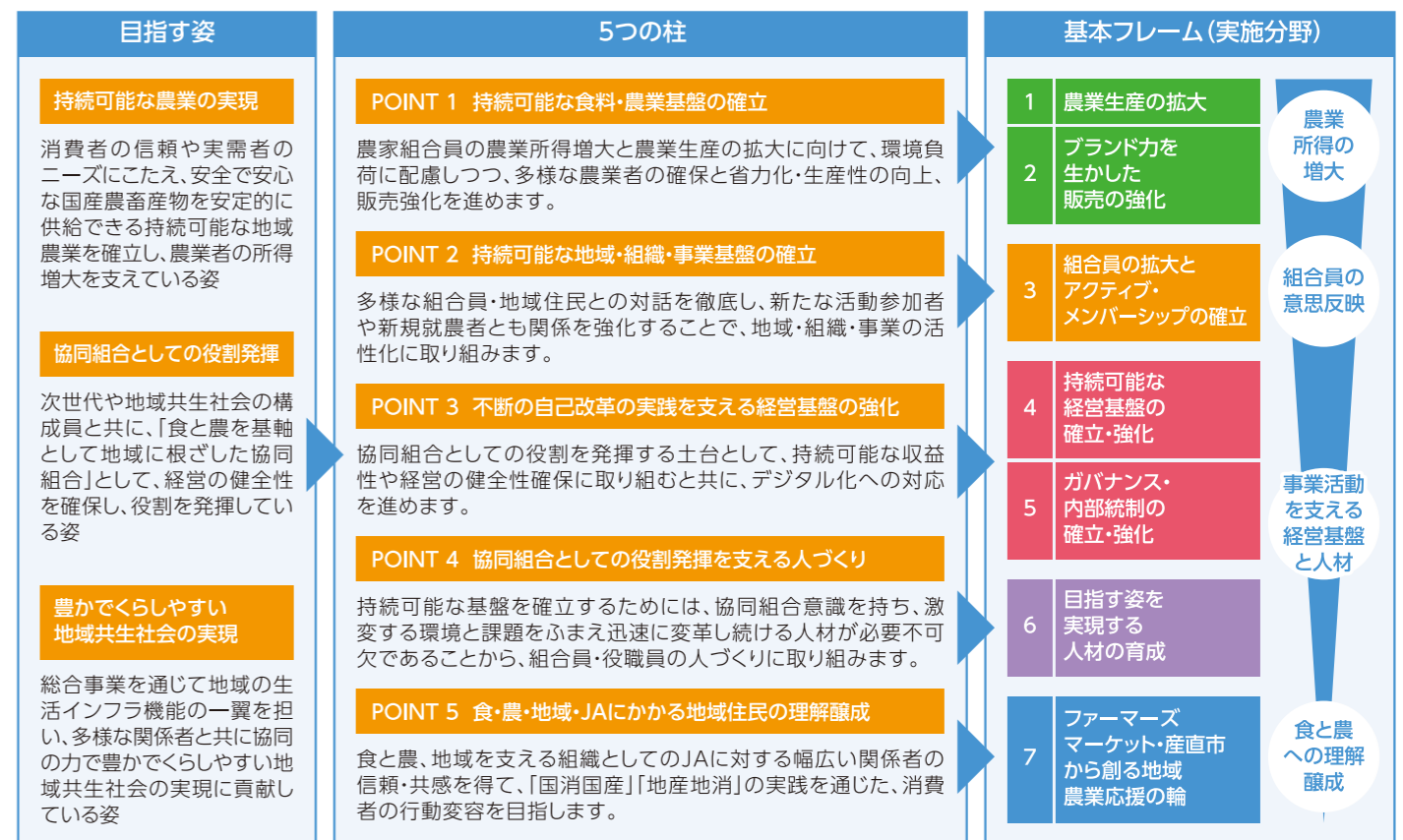
商品の企画・開発

- 特産加工品の統一化・ブラッシュアップ
- 規格外品や不要部位の活用(フードロス削減)
- 地理的表示(GI)保護制度(三島馬鈴薯・西浦みかん寿太郎)、しずおか食セレクション「頂」(21品目)等の活用

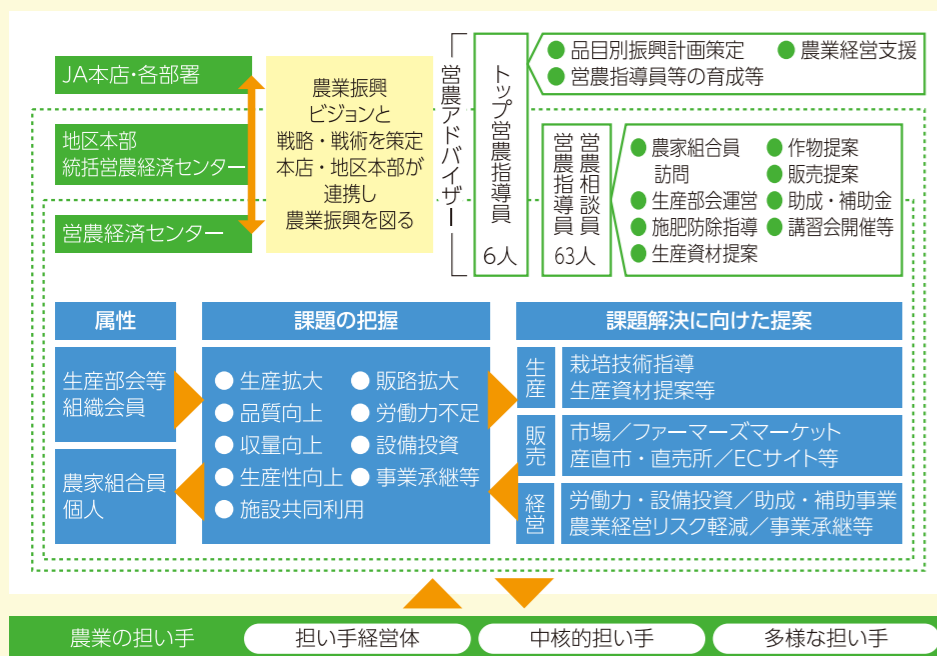
販売戦略の確立

- ECサイト(ネットショッピング)拡充と全国JAファーマーズマーケット等への展開

図① 10年後の「目指す姿」の実現に向けて、中長期を見通して重点的に取り組む「5つの柱」を定め、不断の自己改革を実践



図④ 本店・地区本部連携体制と営農アドバイザー体制の確立



JAふじ伊豆の 営農指導体制

「農業所得の増大」と「農業生産の拡大」にむけて、本店・地区本部統括営農経済センターと各営農経済センターとの連携体制を確立すると共に、営農アドバイザー(生産品目別のトップ営農指導員6人と営農指導員・営農相談員63人)を配置して、農業生産における課題の把握と、課題解決に向けた提案を行います。(図④)

日吉営農部長とトップ営農指導員に聞く 営農アドバイザー体制

当JAが新たに取り組む「営農アドバイザー体制」について日吉誠営農部長に、トップ営農指導員の伊豆澤秀憲課長補佐(イチゴ担当)と齊藤勝俊課長補佐(米担当)に「目指す営農指導」について伺いました。



営農部長
ひよし まこと
日吉 誠

旧JA三島函南で販売・営農指導・広報など主に営農経済部門を経験。実家はイチゴ農家。特にイチゴ、トマトなど果菜類に魅力を感じている。趣味はマラソンと野菜づくり。

イチゴ担当
いすざわ ひでのり
伊豆澤 秀憲

旧JA伊豆の国で長年イチゴの営農指導に携わる。イチゴに関しては、植物生理に目を向け、潜在能力を引き出してあげれば、結果に反映される“奥の深さ”を感じている。趣味はサッカー。

米担当
さいとう かつとし
齊藤 勝俊

旧JA御殿場で、営農、購買、金融、共済など多方面を経験。自身も水稻農家。米・食味鑑定士協会主催の「第20回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」の都道府県選抜代表お米選手権で金賞(最高賞)を受賞している。

トップ営農指導員紹介

花卉担当



東伊豆営農経済センター
たむら まさる
係長 **田村 優**

トップ営農指導員という身に余る業務ではありますが、精一杯努めさせていただきます。合併のメリットを生かし、他の営農アドバイザーと協力して、管内の農業振興に貢献したいと思います。よろしくお祈いします。

野菜担当



三島函南営農経済センター
はかまだ ゆうた
主任 **袴田 優大**

幅広い野菜というカテゴリーで産地振興を考えると、地域性や将来性の調査・分析に基づいた品目選定が重要です。地域の現状に即した品目の普及計画を提案し、その先にある個々の農業経営改善に多面的なアドバイスができる指導を心掛けていきます。

Q 営農アドバイザー体制とはどのような取り組みですか。

日吉 営農アドバイザーには「トップ営農指導員」「営農指導員」「営農相談員」の3階層があります。

「トップ営農指導員」は、選定品目ごとに地域を超えた高いレベルの営農指導を実施して、産地育成と販売高向上に取り組みます。選定品目は①イチゴ②ワサビ③柑橘(かんきつ)④米⑤お茶⑥トマト類⑦野菜⑧花卉⑨ファーマーズマーケット(FM)品の9品目です。4月現在、9品目中6品目にトップ営農指導員を設置しています。残りの3品目(お茶・トマト類・FM品)についても人材育成を進めます。

「営農指導員」は、地域農業の振興を担う中心的な存在として、技術指導、生産部の運営を担います。「営農相談員」は、組合員を訪問し、資材の情報提供を行うほか、営農指導員の補助として指導のキャリアを積み、将来の営農指導員、トップ営農指導員を目指します。

Q 営農アドバイザーにはどのようなことを望みますか。

日吉 管内は静岡県東部全域と広く、生産部会は196部会、生産部会員は7600人以上を数えます。産地としてみると典型的な「少量多品目産地」です。そういった地域特性を生かすように、

その中でも生産量が多い9品目については質・量ともに向上し、販売高を上げようとしています。

営農アドバイザーの中でも、トップ営農指導員には、後輩営農指導員の育成と同時に、産地全体の生産力を高め、①栽培指導②経営指導③産地振興の3つを重点項目の柱とした活動を期待します。

Q 伊豆澤課長補佐(イチゴ担当)の目指す営農指導とは？

伊豆澤 私はイチゴが基幹作物の旧JA伊豆の国出身です。生産者と関わる中で成長させていたいただきました。先輩指導員の背中を追いかけながら、現場の声を大切に何が必要かを考え産地を守るよう励んできました。生産基盤の安定、有益な情報の提供、現場での課題解決を通して、農業所得の向上に努めていきたいです。合併テーマのひとつである広い管内の横展開、地域の実情を踏まえた可能性も追求していきたいですね。

Q 生産者にメッセージをお願いします。

伊豆澤 各地区の営農アドバイザーと生産者を訪問し、課題を共有してお手伝いしたいと思っています。一緒に生産現場を盛り上げていきますように。

Q 齊藤課長補佐(米担当)の目指す営農指導とは？

齊藤 私は「ごんぼ(こしひかり)」の産地、旧JA御殿場出身です。私自身も水稻農家で1町5反(約1.5ヘクタール)の水田を耕作しています。

最近は核家族化や主食の多様性から米価安が続き、管内の各産地でも苦労していると思います。しかし、総務省家計調査によると静岡県は全国有数の米消費県。1世帯当たりの米消費量は全国平均を上回っています。これはチャンスと考えています。

購買層に選ばれる米を目指し、安全・安心と食味にこだわったブランド化やさらに質を落とさず収量を上げる方策で農業所得の向上を図ることが出来ます。管内には各地にそれぞれの特長を持ったお米があります。それぞれの産地で知名度を上げ、消費拡大につなげたいと思います。

Q 生産者にメッセージをお願いします。

齊藤 地域ごとに産地化を目指していきます。地域の実情に合わせて活動してこられた営農指導員や、水稻の農家組合員の皆さまとコミュニケーションを取りながら、一つ一つ課題解決に取り組みたいと思います。

ワサビ担当



修善寺営農経済センター
ひよし あらた
課長補佐 **日吉 新**

各産地の「将来のあるべき姿」を実現するため、営農アドバイザーとして生産者の皆さまの声に寄り添いながら持続可能な農業振興・地域社会づくりのために取り組んでいきます。よろしくお祈いします。

柑橘担当



西浦みかん営農経済センター
たけ たかひろ
係長 **武 剛広**

各地で品種、栽培環境が異なる中での営農指導担当となり、今までの知識では対応できない事もあります。さらに知識・技術の研さんに努め、各地区の営農アドバイザーと協力して業務に精進してまいります。